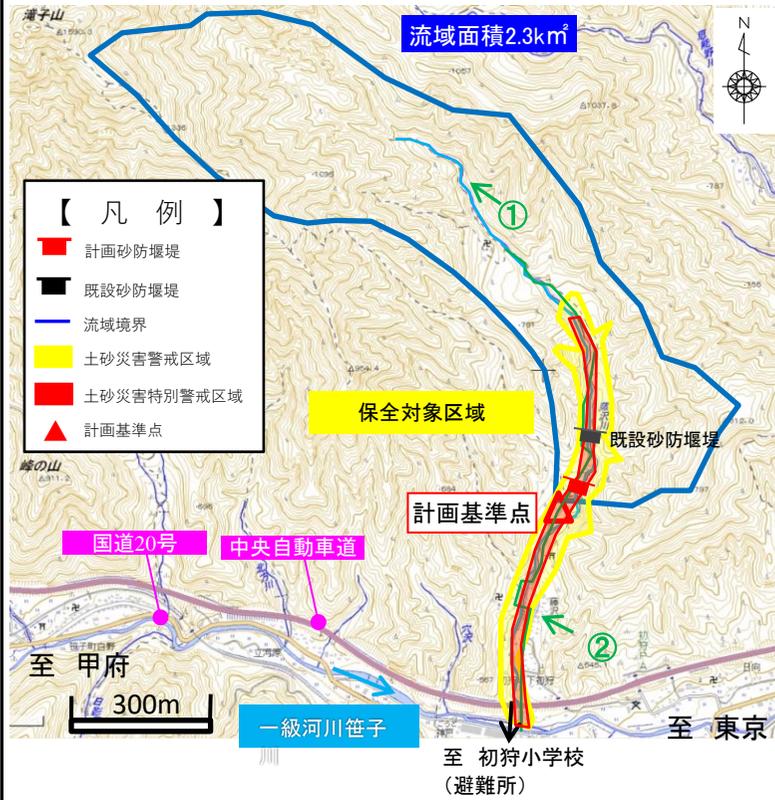


1. 事業説明シート

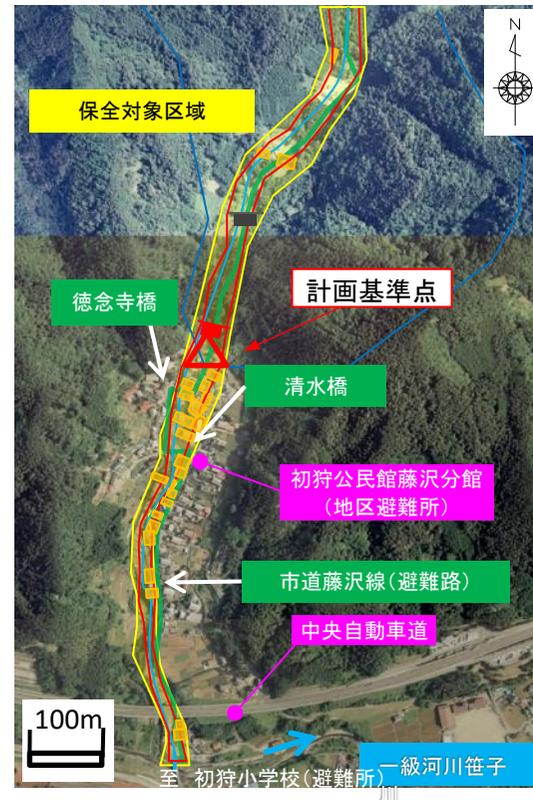
事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	事業箇所	大月市初狩町下初狩	地区名	藤沢川 (フジサワガワ)	事業主体	山梨県																																							
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																										
①課題・背景 本溪流は流域面積2.3km ² の土石流危険溪流であり、土砂災害警戒区域に指定されている。近年の台風により溪岸が浸食され、河床には不安定土砂や転石が多く堆積している。流域上部には崩壊地などもあり、台風や集中豪雨時には土石流発生の危険が高まっている。また、砂防施設が整備されているものの整備率が低く、保全対象には人家32戸、避難路(市道)があり土石流が発生すると甚大な被害を及ぼす可能性がある。このため、砂防施設を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。				妥当 妥当でない ①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																										
②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 17% < 70%未済※ ・重要公共施設の有無 無 (保全対象：人家32戸、市道1,568m、橋梁2基)				②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																										
□副次目標 — □副次効果 —				③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																										
				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>410 百万円</td> <td>工期</td> <td>R7~R16</td> <td>基準年</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>323 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">751 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>322 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">182 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>1 百万円</td> <td>公共土木施設等被害抑止</td> <td colspan="2">28 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">40 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">501 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">2.3</td> </tr> </table>				総事業費	410 百万円	工期	R7~R16	基準年	R6	経済効率性	費用	323 百万円	便益	751 百万円		建設費	322 百万円	一般資産被害抑止	182 百万円		維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害抑止	28 百万円				人身被害抑止	40 百万円					その他※	501 百万円		B/C			2.3		
総事業費	410 百万円	工期	R7~R16	基準年	R6																																									
経済効率性	費用	323 百万円	便益	751 百万円																																										
	建設費	322 百万円	一般資産被害抑止	182 百万円																																										
	維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害抑止	28 百万円																																										
			人身被害抑止	40 百万円																																										
			その他※	501 百万円																																										
B/C			2.3																																											
				※その他は、応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比(B/C)は、国の採択基準1.0を超えている。																																										
(2) 整備内容				④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																										
①整備内容 ・砂防堰堤 1基 H=10.0m L=93.0m				流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である。																																										
②着手年度 令和7年度 ③完成見込年度 令和16年度				⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 土石流対策として、砂防堰堤の設置が最も効果的である。																																										
④総事業費 約410百万円 (国費205百万円(5/10)県費205百万円(5/10))				⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 掘削法面等に緑化等を行い環境負荷に配慮する。																																										
⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和7年度 詳細測量、詳細設計、地質調査 20 百万円 令和8年度 用地測量、用地調査、用地取得・補償 10 百万円 令和9~16年度 砂防堰堤工事 380 百万円				⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地元の要望に基づいており、地域の同意は得られている。																																										
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。				総合評価																																										
⑥既整備内容・期間・事業費 砂防堰堤 H=7.5m L=40m S47~S51 事業費35百万円				[貢献度ランク：b]																																										
(4) 事業位置図等																																														

2. 添付資料シート

流域概要図



航空写真



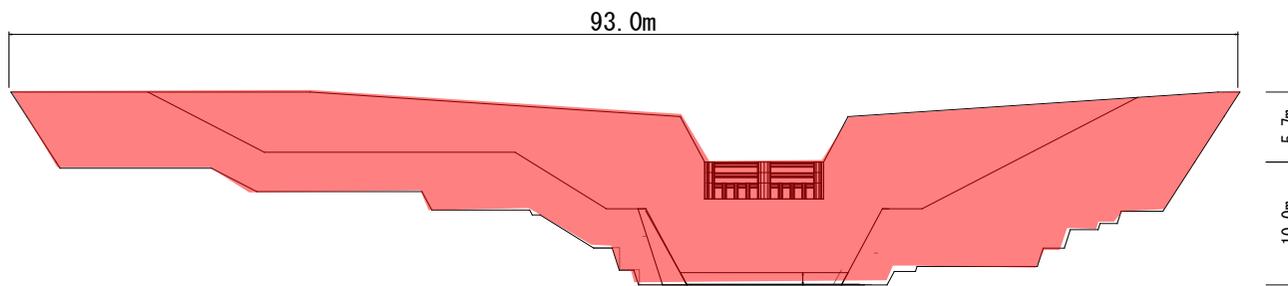
① 荒廃状況



② 保全対象(清水橋)



正面図



側面図

